

自由学園最高学部研究奨励金 2027 年度募集要項

目的	本研究助成は、最高学部生の自由学園生としてふさわしい自主的な学びを奨励するとともに、研究活動における経済的制約を緩和することを目的とします。
応募資格	本研究助成は公募とします。応募資格は 2027 年度に自由学園最高学部へ在籍予定である者です。
助成期間	助成対象期間は最高学部在籍中です。ただし、最高学部卒業後に研究生として在籍することによる延長は認められません。研究課題は、なるべく 2027 年度中に研究奨励金を使用するものが望ましいですが、2028 年度以降も含めた複数年に亘って研究奨励金を使用するでも構いません。申請書（所定用紙）の「3 研究内容」欄あるいは「6 研究経費」欄に、そのあたりの内容や計画をできる限り詳しく記述してください。
助成金額 助成件数	研究奨励金で支給される金額は、日本国以外の国に渡航して研究活動する場合、100,000 円を上限とし、そうでない場合は 50,000 円を上限とします。助成金額は、申請書に記載されている内容に応じて決定されます。ただし、最高学部教師会が必要と認め、常任理事会が承認した場合には、増額されることもあります。なお、2027 年度に支給される研究奨励金の予算総額は 800,000 円です。この枠内で 2027 年度の助成件数が決定されます。
応募に関する 留意点	研究は個人研究を原則とします。共同研究でも申請は可能ですが、その場合であっても助成金額が人数に応じて増えるわけではありません。共同研究の場合は研究代表者に研究奨励金が支給されます。
公募期間	2027 年度の研究奨励金の募集は次の 2 回に分けて行われます。第 1 回の募集ですべての枠が埋まるということはありません。研究内容をしっかり定めてから応募しましょう。 第 1 回 2026 年 11 月 25 日（水）9:00 から 12 月 15 日（火）17:00 まで 第 2 回 2027 年 4 月 29 日（木）9:00 から 5 月 12 日（水）17:00 まで
受給回数に関する制限	最高学部生が本研究助成を受給できる回数は、最高学部在籍期間を通して、原則 1 回のみです。ただし、自由学園生として模範となる卓越した研究と認められたものに関しては、その限りではありません。また、高校からの推薦合格者（R 方式・S 方式 1 回目・指定校推薦）は、2027 年度に採択された場合も、2028 年度以降の募集に応募可能です（すなわち 2 回受給できるチャンスがあります）。2026 年度現在、最高学部在籍している方につきましては、2026 年度以前の研究奨励金制度が一部適用されますので、研究奨励金担当まで申し出てください。なお、同一の研究課題あるいは類似の研究課題に対して、同じ学部生が複数回採択されることはありません。
応募方法	自由学園ホームページの下記 URL へアクセスして、申請書（Word 形式）ファイルをダウンロードし、必要事項を記入してください。記入済み Word ファイルを、上記公募期間内に、電子メールに添付して g-info@jiyu.ac.jp 宛てに提出してください。なお、申請書に未記入の項目がある場合は書類不備で失格となります。また、申請書の返却はしませんので、ご了承ください。
書類 URL	https://www.jiyu.ac.jp/college/students/grant.php
審査方法	選考委員会が事務審査した後、最高学部教師会で審査し、常任理事会の承認を得て、支給者ならびに支給金額が決定されます。審査の過程では、必要に応じて、応募者に対して申請書の内容に関するヒアリング調査などを行います。

審査基準	主に以下の基準に従って審査を行います。 (1)自由学園最高学部生の研究としての妥当性 (2)研究課題の学術的あるいは社会的重要性・妥当性 (3)研究計画・研究方法の妥当性および研究環境の適切性 (4)研究に対する熱意や真摯な思い 自由学園ならではの研究を期待しています。すでに準備を進めている研究についてはとくに積極的に支援したいと考えています。また、限られた財源をできるだけ多くの最高学部生の支援にあてたいと考えています。
審査結果通知 交付時期	公募期間の第1回については、2027年2月上旬を目途に応募者へ直接採択結果を通知し、2027年4月1日以降、学生金庫を通じて交付されます。第2回については、2027年7月上旬を目途に応募者へ直接採択結果を通知し2027年9月1日以降、学生金庫を通じて交付されます。なお、採否の理由などに関する問い合わせには応じられません。
受給後の義務	(1)採択課題については、採択者名、学年、研究課題名、概要の全部あるいは一部を、公的情報のニュースなどに掲載することがあります。 (2)最高学部研究奨励金受給者は、研究終了後すみやかに、研究成果および給付金の使途につき実績報告書（所定用紙）を提出してください。あわせて研究成果を発表してください。発表は学内外を問いません。報告書提出と発表は受給年度末までに行ってください。 (3)研究成果は実績報告書にもとづき自由学園公式サイトなどで公表することがあります。ただし、個人としての学術論文への投稿や特許申請に関連した希望などがある場合、開示内容を限定できるものとします。また、研究成果を中等部・高等部・最高学部その他自由学園関連団体で発表することを最高学部教師会から依頼することもあります。これは義務ではありませんが、研究費獲得のためにも何卒ご協力ください。 (4)最高学部教師会は最高学部研究奨励金受給者あるいはその研究指導者に対して、研究の進捗状況・経費使用状況や結果について、ヒアリングを行うことがあります。受給者は指導者への報告を怠らないようにしてください。
研究成果の 発信	本助成により得た研究成果を学外で発表する場合には、本助成を受けたことを必ず表示してください。また、論文や報告書などの謝辞（Acknowledgement）に本助成の交付を受けて行った研究の成果であることを記載してください。 〈記載例〉 【英文】 This work was supported by Research Grant from Jiyu Gakuen College. 【和文】 本研究は自由学園最高学部研究奨励金の助成を受けて行いました。
その他	(1)申請書に虚偽の記載などがあることが判明した際は、採択後でも決定を取り消すことがあります。 (2)最高学部研究奨励金の返還義務は原則としてありません。ただし、計画どおりの研究の成果が得られなかった場合、あるいは受給者が受給中に最高学部を中途退学した場合、受給した全額または一部について返還を求めることがあります。
書類相談	書類の書き方に関する相談は電子メールで受け付けます。g-info@jiyu.ac.jp 宛てにご相談ください。
応募問合せ先	最高学部教師室 担当：遠藤敏喜・松下瑛美 E-mail：g-info@jiyu.ac.jp Tel&Fax：042-422-4389（最高学部教師室） URL：https://www.jiyu.ac.jp/college/students/grant.php